

東海広域ナノテクものづくりクラスター

ISPlasma2011

産学官連携セッションのご案内

～オープンイノベーションを目指した国際拠点の形成～

東海地域が世界有数のものづくり拠点としての持続的発展を目指して推進している「東海広域ナノテクものづくりクラスター」事業では、国際競争力を有するクラスター形成に向けて、文部科学省の支援を受け、海外の研究・技術移転機関等との学術交流を展開する基盤づくりを進めており、その一環として毎年3月に「先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム（ISPlasma）」を開催しています。

この中で開催される産学官連携セッションにおいては、欧米・アジアのオープンイノベーションによる産学官連携の事例や研究拠点の仕組みについて、国内外の有識者からご講演・討議いただき、当地域に先進プラズマナノ科学研究拠点を形成する方策を探ります。多数の産学官連携関係者のご参加をお待ちしております。

日時 平成 23 年 **3 月 9 日 (水)** **14:30～18:00**

参加費無料
事前登録受付中

会場 名古屋工業大学 (名古屋市昭和区御器所町) 講堂

■ プログラム ※講師の都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

同時通訳あり

◆ 講演 14:30 ～ 16:30

日本の科学技術政策の展望、欧米・アジアにおける研究拠点形成の事例及び当地域のクラスター形成に関する取組などを紹介します。

独立行政法人科学技術振興機構	社会技術研究開発センター長	有本 建男
Selantek, Inc. (米国)	Executive President	Charles Mantel
IMEC (ベルギー)	Professor	Wilfried Vandervorst
株式会社産業タイムズ社	取締役社長	泉谷 渉
名古屋大学工学研究科附属プラズマナノ工学研究センター	センター長 / 教授	堀 勝

◆ パネルディスカッション 16:40 ～ 18:00

【テーマ】 オープンイノベーションを目指した先進プラズマナノ科学国際拠点の形成

東海地域に国際的な研究拠点を形成するにあたっての課題と地域で求められる拠点のあり方について討議します。

【モデレーター】 名古屋工業大学	准教授	小竹 暢隆
【パネリスト】 独立行政法人科学技術振興機構	社会技術研究開発センター長	有本 建男
Selantek, Inc. (米国)	Executive President	Charles Mantel
IMEC (ベルギー)	Professor	Wilfried Vandervorst
株式会社産業タイムズ社	取締役社長	泉谷 渉
愛知県産業労働部新産業課	科学技術推進室長	間所 陽一郎
名古屋大学工学研究科附属プラズマナノ工学研究センター	センター長 / 教授	堀 勝 (敬称略)

【申込方法】 ISPlasma2011 のウェブサイトより、オンライン参加登録をお願いいたします。

<http://www.isplasma.jp/japanese/16.html>

【お問い合わせ先】 ISPlasma2011 事務局 (財) 科学技術交流財団 東海広域知的クラスター創成事業本部

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内二丁目 4-7 愛知県産業貿易館西館 7 階

TEL : 052-231-1656 FAX : 052-231-1640 E-mail : isplasma@astf.or.jp

ISPlasma2011の他のセッションについては、ウェブサイトをご覧ください。

会 期：3月6日(日)～9日(水)
参加費：有料



主 催：(財) 科学技術交流財団、ISPlasma2011 組織委員会

共 催：愛知県、名古屋市、岐阜県、名古屋大学、名古屋工業大学、名城大学、中部大学、(社) 応用物理学会、(社) プラズマ・核融合学会、日本結晶成長学会

協 賛：日本学術振興会ワイドギャップ半導体光・電子デバイス第162委員会、(社) 化学工学会、(社) 電気学会、(社) 電気化学会、(社) 電子情報通信学会、(社) 日本化学会、(社) 日本機械学会、日本真空協会、(社) 日本表面科学会、(社) 表面技術協会、放電学会

後 援：三重県、岐阜大学、豊橋技術科学大学、豊田工業大学、三重大学、(財) ファインセラミックスセンター、核融合科学研究所、中部経済産業局、(社) 中部経済連合会、名古屋商工会議所、(社) 岐阜県工業会、(財) 名古屋産業科学研究所、(財) 名古屋産業振興公社、(財) 岐阜県研究開発財団、(財) 中部産業・地域活性化センター、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会、愛知工研協会、名古屋大学協会、名古屋工業大学研究協力会、特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会、特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム

賛助団体：(財) 名古屋観光コンベンションビューロー、(財) 大幸財団